

広報広聴委員会行政視察報告書

1 視察期間

令和4年10月25日 1日間

2 視察都市

菊川市

3 参加者

小柳貴臣委員長、江塚 学副委員長、本間昭男委員、八木義弘委員、芥川栄人委員、
虫生時彦委員、根津康広委員

随員 磯貝正樹主任、森里裕子主任

4 視察事項

- (1) 議会報告会の実施及び運営について
- (2) その他議会広報広聴に関することについて

5 考察

次のとおり

I 菊川市 人口：47,720人・面積：94.19km²（令和4年4月1日現在）

1 議会報告会の実施及び運営について

(1) 概要

菊川市議会では、議会報告会を開催するにあたり、総務建設委員会・教育福祉委員会の2つの常任委員会から7人の委員を選出して議会報告企画委員会を組織し、スケジュール・テーマの決定、共通資料・実施報告書を作成している。

報告会は平日の夜に、全11会場（地区自治会単位で年1回）で開催し、全議員が分担して出席している。また、報告会に参加できない市民のため、週休日に全体会を開催し、多くの市民意見や参加を促す取組を実施している。全体会では託児環境や手話通訳を取り入れ、子育て中の母親や障がいを持つ方も気軽に参加できる体制を構築するなどの工夫が見られる。

(2) 考察

一般的に固いイメージがある議会報告会を親しみやすく参加しやすい雰囲気にするため、ネーミングを「議会ふれあいミーティング 語ら座あ」とし、会場では議員がポロシャツを着用していることで、市民と同じ目線で向き合う姿勢が大変参考になった。

当日の運営に関しても、発表者と運営側でそれぞれ4～5人の2班編成とし、地元議員が運営側に参加し、住民からの質問にも即座に対応できるような工夫が感じられた。

多くの世代に参加してもらうため、チラシやSNSを活用して周知し、地域単位だけでなく、市政に関わる福祉や医療、若者などの各分野の議会報告会を開催するなど、多様な市民意見を聴取する場を設け、開かれた議会、身近な議会と感じてもらえるよう検討していきたい。

2 その他議会広報広聴に関することについて

(1) 概要

菊川市議会では、こども議会、市議会の活動に関するアンケート調査及び議員による政策討論会などが開催されている。中でも政策討論会については、全議員が一堂に会し、各議員が個々の思いを建前でなく本音で、積極的に意見交換を行うことを目的としている。

討論会では、分科会で調査研究をした内容を発表し、全体で討論を行っており、討論会の大テーマは、「市政に関する重要な政策及び課題」とし、政策課題の抽出は、会派ごとに提出された案件の中から決定している。この討論会の内容をまとめ、市長に政策提言書を提出している。

(2) 考察

政策討論会では、毎年テーマを市政の重要な政策や課題に対して選定し、議会としての共通認識の醸成を図り、合意形成を得ながら議会全体で意見を集約している。市長に政策提言書を提出することにより、次期予算に反映させており参考になった。その一方で、本市議会においては、常任委員会や特別委員会での議論を活発化させることが先決であると感じられた。

今後、政策討論会を含め、議員間の討論に重きを置きながら、自由で開かれた議員間討議の場が醸成されるよう精査・検討していく必要があると感じた。